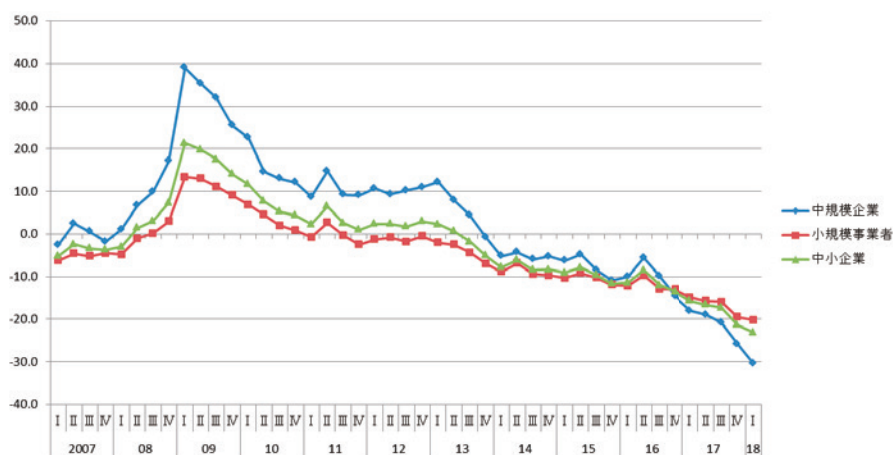


図表2-7 従業員数過不足DI



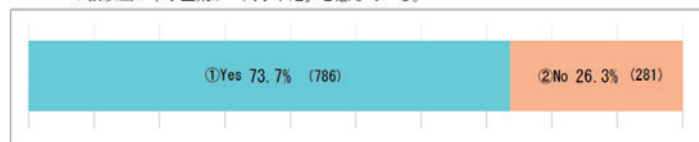
(出所) 中小企業庁・中小企業基盤整備機構「中小企業景況調査」

中小企業基盤整備機構の「中小企業アンケート調査『人手不足に関する中小企業への影響と対応状況』(平成29年5月)」によると、東京を含む大都市エリアの方が地域エリアより人手不足が深刻だと感じている企業の割合が高くなっており、更に同調査によると、7割以上の中小企業が人手不足を感じており、半数以上の企業が「深刻」または「かなり深刻」な状況と感じていることがわかる。

図表2-8 中小企業の人手不足感

Q1. 「人手不足」を感じていますか。

7割以上の中小企業が「人手不足」を感じている。



Q2. (①Yesの回答者)「人手不足」をどの程度感じていますか。

中小企業の半数以上(52.8%)が人手不足を深刻と感じている。



(出所) 中小企業基盤整備機構「中小企業アンケート調査報告『人手不足に関する中小企業への影響と対応状況』(平成29年5月)」

4) 人手不足の解決に期待されるITの導入

人手不足に関する中小企業への影響と対応状況

人手不足の解決にIT化による生産性向上が期待されるが、この人手不足への対応について、実際に中小企業がどのように考えているかを、中小企業基盤整備機構「中小企業アンケート調査報告『人手不足に関する中小企業への影響と対応状況』(平成29年5月)」で見ると、一番多いのが「従業員の多能工化・兼任化」ということで、一人で複数の仕事をおこなうことがあげられている。2番目以降を見ても「業務の一部を外注化」する、または「残業の増加」による対応が上位を占めている。業務プロセスの改善・工夫は4番目で、IT・設備導入による省力化は更に低い位置にある。中小企業においては、IT活用を直接的な人手不足への対応策とするよりも、人に依存する対応策がとられやすい傾向にあることがうかがえる。